

日時	発言者	内容	市場への影響
3/3	バーナンキFRB議長	「この1年半に起きた出来事で、最も強い憤りを覚えたのはAIGを置いてほかない。」「金融システムはまだ安定していない。」議会証言で発言。	保険株を中心に米株式下落。
3/5	トリシェECB総裁	「現行水準が(政策金利の)最低水準と決めたわけではない。」「今年中に(インフレ率が)マイナスになる。」追加利下げ決定後の会見で。	ユーロが大幅に下落。 ユーロ/円124円後半→122円台へ。
3/6	大統領経済諮問委員会 ローマー委員長	景気回復の時期について「年後半には効果が表れる」TVのインタビューで。	-----
3/7	世界銀行	2009年世界景気は戦後初めてマイナス成長に。 (世銀が今年度の経済見通しを発表。)	-----
3/7	ウォーレン・バフェット	米経済は「かけから転落した。」「現在の政策は強いインフレ要因となり得る。」 米経済が非常に厳しい状況にあり、ある程度のインフレは適切との見解を示す。	NY株式市場が下落。 NYダウ6,547ドルまで売られる。
3/10	スマギECB専務理事	「ECBは金利をゼロ水準まで引き下げる用意がある。」インタビューに答えて。	-----
3/15	バーナンキFRB議長	「政府が金融市場の安定に成功すれば、リセッションは年内に終了し、 2010年には景気拡大に転じる公算が大きい。」CBSのTVインタビューに答えて。	-----
3/20	米自動車作業部会 スティーブン上級顧問	「GM、クライスラーの債権計画は楽観的な部分もあり、 必要な支援額が大幅に増える事態も否定できない。」米メディアに対して。	-----
3/23	トリシェECB総裁	「ECBは金利をゼロまで引き下げるについて慎重な姿勢を維持している。」 23日付け新聞のインタビューで。	-----
3/25	ガイトナー財務長官	「SDRについては排除しない。」「ドルは引き続き世界において最も有力な 準備通貨であり、今後の長期間そうあり続けると思う。」NYの講演で。	ドル円97円ミドルから96円台、 更に97円台に。
3/26	ルービニNY大学教授	ブルームバーグテレビジョンのインタビューに応じて「大手銀行のいくつかは国有化が必要になるだろう。」不良債権処理に向けた米財務省の計画は不十分との見方を表明	-----
3/30	オバマ大統領	GMについて「根本的なリストラを実施すれば復活できる。」とし、クライスラーについては 「単独での生き残りは困難。」と指摘。(両社に対する追加資金提供に際して)	-----